

学校法人 了徳寺学園 柔道部新聞

講道館杯で渡邊・角田が優勝！！



2016年11月12日（土）・13日（日）、千葉ポートアリーナにて講道館杯全日本柔道体重別選手権大会兼2017世界選手権大会第一次選考会が開催され、了徳寺学園柔道部より12名が出場しました。結果は渡邊・角田の2名が優勝、志々目徹が準優勝、緒方が3位と4名が入賞しました。結果詳細は以下のとおりです。

【結果詳細：初日】



81 kg級 渡邊 勇人：優勝

初戦両者に消極的指導がいった後、積極的に前に出て相手に指導。その直後に立技から寝技へ移行し腕挫十字固で一本勝。そのまま全試合一本勝で決勝戦へ進出します。迎えた決勝戦では、しぶとく勝上がってきた春山（自衛隊体育学校）との対戦となります。序盤は相手との探り合いとなりますが、中盤に相手が背負投にきたところを大外刈に合わせ有効を先取します。再度、相手の背負投を返して技有を追加します。その後も前に出て相手が下がったところ小外刈で一本を奪い、圧倒的強さで全試合一本勝にて優勝を果たしました。

この日の渡邊は冷静な試合運びで危なげなく立技、寝技ともにしっかりと極め、実業個人に続き国内大会2連勝を遂げました。この調子で続くグランドスラム

東京を制覇し、世界選手権代表に選出されるようしっかり準備をさせていきたいと思います。

2回戦	渡邊 勇人	○	一本勝（腕挫十字固）		釘丸（国士舘大）
3回戦	〃	○	一本勝（一本背負投）		北浦（天理大学）
準々決勝	〃	○	一本勝（大外刈）		笠原（天理高）
準決勝	〃	○	一本勝（合技）		小原（東海大）
決勝	〃	○	一本勝（小外刈）		春山（自衛隊体育学校）

73 kg級 太田 慶一 : 2回戦敗退

初戦、太田が試合のペースをつかみ消極的な相手に指導が与えられます。そのままペースを譲らず指導1で優勢勝となりました。

続く2回戦では大学の後輩との対戦となり、序盤から両者担技で攻め合う中、太田が手首を負傷します。手が使えず消極的な太田に指導が与えられます。その後、挽回せんと技を出しますが握りが不十分で掛け逃げの指導が与えられ無念の敗退となりました。試合中にケガを負い、力を出し切ることができない悔しい敗戦となりました。



1回戦	太田 慶一	○	優勢勝 (指導1)		福岡(福岡大)
2回戦	〃		優勢負 (指導2)	○	吉田(東海大)



73 kg級 西山 雄希 : 2回戦敗退

初戦、相手の技を受けてしまい指導を受けます。その後、西山が担技、足技と攻め相手に指導が与えられます。終盤に大内刈で有効を奪い、初戦を突破します。

2回戦は西山が組手を嫌がったとして指導が与えられます。その後、足技で攻め消極的な相手に指導がいきGSに入ります。しかし、1分過ぎに消極的な西山に指導が与えられ、上位進出はなりませんでした。

1回戦	西山 雄希	○	優勢勝 (有効: 大外刈)		細木(国士舘大)
2回戦	〃		GS 優勢負 (指導1)	○	橋本(パーク24)

66 kg級 六郷 雄平 : 初戦敗退

初戦は、昨年の世界代表の高市 (旭化成) との対戦となります。序盤から六郷が積極的に技を出し、中盤、相手に指導が与えられます。その後もペースを変えず六郷が攻め、相手に2度目の指導が与えられます。しかし、ラスト20秒のところで隅返で有効を奪われて逆転を許し、悔しい敗戦となりました。



1回戦	六郷 雄平		優勢負 (有効: 隅返)	○	高市 (旭化成)
-----	-------	--	--------------	---	----------



60 kg級 志々目 徹 : 準優勝

準決勝まで危なげなく勝ち進み、準決勝では大学の後輩・青木との対戦となります。序盤に両者指導が与えられます。その後、相手に押し込まれて場外に出てしまい2つめの指導を受けリードを許します。しかし、終盤に相手の小外掛をさばいて有効を奪い、逆転で決勝進出を決めます。決勝戦はケンカ四つで引手が取れず両者に指導が与えられ、そのままGSに突入します。GS突入後、相手の小外刈にはまってしまい、優勝を逃しました。

2回戦	志々目 徹	○	一本勝 (合技)		岩井(福井県警察)
3回戦	〃	○	優勢勝 (指導 2)		川端(センコー)
準々決勝	〃	○	優勢勝 (指導 2)		米村(日体大)
準決勝	〃	○	優勢勝 (有効: 隅落)		青木(日体大)
決勝	〃		GS 優勢負 (技有: 小外刈)	○	永山(東海大)

70 kg級 ヌンイラ 華蓮 : 7位

1, 2回戦を危なげなく突破し、準々決勝に進みます。準々決勝では全日本学生を制した大学の後輩、宇野との対戦となります。序盤に消極的な両者に指導、その後も組合わない両者に指導が与えられます。終盤に相手の袖釣込足で崩れながら対応した際に足に手が触れてしまい反則負で敗者復活戦に回ります。敗者復活戦では先に相手の技を受けてしまい指導をもらいます。その後もお互い攻め合いますがポイントは奪えず指導1差で敗退となりました。



1回戦	ヌンイラ 華蓮	○	一本勝 (払腰)		中村(同朋大学)
2回戦	〃	○	優勢勝 (有効: 大外刈)		岩佐(創価大)
準々決勝	〃		反則負	○	宇野(環太平洋大学)
敗者復活戦	〃		優勢負 (指導 1)	○	前田(JR 東日本)



78 kg級 緒方 亜香里 : 3位

緒方のペースで試合を進め、順調に準決勝まで勝ち上がります。準決勝は佐藤(コマツ)と対戦し、前半に組手を相手に捌かれ消極的指導を2回取られます。その後、挽回のため前に出て指導1を取り返しますが一步及ばず3位決定戦へ回ります。

3位決定戦では中盤に大外刈で技有を奪います。その後も攻め続け、相手に指導が宣告されます。終盤に指導を受けますが、そのまま押し切り、優勢勝ちで3位を確保しました。

1回戦	緒方 亜香里	○	一本勝 (合技)		高宮(富士大)
2回戦	〃	○	優勢勝 (指導 3)		鈴木(環太平洋大)
準々決勝	〃	○	優勢勝 (指導 2)		泉(山梨学院大)
準決勝	〃		優勢負 (指導 2)	○	佐藤(コマツ)
3位決定戦	〃	○	優勢勝 (技有: 大外刈)		高橋(オージー技研)

【結果詳細：2日目】



52 kg級 角田 夏実：優勝

1, 2 回戦を危なげなく突破し、準々決勝では実業個人決勝で対戦した橋本（コマツ）との対戦となります。序盤から角田が攻め、巴投で有効を先制します。その後も攻め続け、後半相手が挽回せんと出てきたところを小外刈に合わせて技有を追加し、前回のリベンジを果たします。準決勝は、この日好調の阿部（夙川学院高）を巴投からの腕挫十字固で一蹴し、決勝へ駒を進めます。決勝戦では全日本ジュニアチャンピオンの立川（福岡大）と対戦します。序盤、両者巴投、大外刈と攻めますがポイントには至らず、引手を持たせない相手に指導が与えられます。試合終盤に相手に袖口指導が与えられリードを広げます。その後、挽回せんと攻め込んでくる相手に合わせてしまい、角田に消極的指導が与えられますが 2-1 の指導差で勝利し、嬉しい初優勝を決めました。今後も対外国人選手の対応・対策をおこない国際大会で結果を出せるよう、取り組んでいかせたいと思います。

1 回戦	角田 夏実	○	優勢勝（技有：巴投）	垣田（兵庫県警）
2 回戦	〃	○	一本勝（腕挫十字固）	長野（龍谷大）
準々決勝	〃	○	優勢勝（技有：小外刈）	橋本（コマツ）
準決勝	〃	○	一本勝（腕挫十字固）	阿部（夙川学院高）
決勝	〃	○	優勢勝（指導 2）	立川（福岡大）

52 kg級 志々目 愛：7 位（負傷棄権）

初戦、学生チャンピオンの米田と対戦します。序盤、両者に指導が与えられます。その後、志々目が前に出て下がった相手に場外指導が与えられ、指導 1 差で初戦を突破します。3 回戦では初戦で指を負傷したのが影響し、道衣が握れず、先に指導を取られます。中盤、防御姿勢の相手に指導が与えられますが、相手の袖釣で肘を負傷します。終盤、相手に押し込まれ場外指導を取られ指導 1 差で敗退となりました。敗者復活戦はケガのため棄権となりました。試合中に負傷してしまいましたが、次の大会に向けしっかり準備させていきたいと思います。



2 回戦	志々目 愛	○	優勢勝（指導 2）	米田（山梨学院大）
3 回戦	〃		優勢負（指導 2）	○ 阿部（夙川高）
敗者復活戦	〃		棄権	○ 橋本（コマツ）



52 kg級 西田 優香：初戦敗退

3 連覇がかかる西田は初戦、序盤から積極的に攻め、下がる相手に場外指導が与えられます。その後も攻め続け、相手に消極的指導が追加され、リードを広げます。しかし終盤、相手の逆背負投にはまってしまい、有効を奪われ、そのまま抑え込まれ初戦敗退となりました。

1 回戦	西田 優香		一本負（横四方固）	○ 本野（東海大）
------	-------	--	-----------	-----------

63 kg級 西川 真帆 : 2 回戦敗退

初戦、序盤から攻め相手に指導が与えられます。その後もペースを変えず攻め、相手に 2 度目の指導が与えられ、指導 2 で初戦を突破します。2 回戦はケンカ四つで両者引手が取れず、両者に指導が与えられます。そのまま決着がつかず GS に突入しますが、2 分過ぎに潰れたところ三角で返され横四方固を極められ敗退となりました。



1 回戦	西川 真帆	○	優勢勝 (指導 2)		遠藤 (金沢学院大学)
2 回戦	〃		GS 一本負 (横四方固)	○	大隅 (JR東日本)

100 kg級 阪本 健介 : 2 回戦敗退



初戦、序盤は両者共に技が出ない展開の中、中盤に阪本が体落で有効を先制します。その後も相手の背負投を返して有効を追加し、初戦を突破します。2 回戦は序盤に阪本に消極的指導が与えられます。その後、相手の低い背負投に回ってしまい、有効を許します。終盤に阪本が攻め相手に指導がいきますが、挽回するまでには至らず上位進出にはなりませんでした。

1 回戦	阪本 健介	○	優勢勝 (有効 : 小外掛)		北山 (龍谷大)
2 回戦	〃		優勢負 (有効 : 背負投)	○	長尾 (兵庫県警)

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★次回大会情報★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

東京グランドスラム大会

是非 応援に来てください!

■ 期日 : 12 月 2 日 (金)、3 日 (土)、4 日 (日)

■ 時間 : 3 日間とも 10 時試合開始

■ 場所 : 東京体育館 渋谷区千駄ヶ谷

※ JR 中央・総武線「千駄ヶ谷」駅前、地下鉄大江戸線「国立競技場」駅前

出場選手 : 12 月 2 日 (金)

※ 男子選手 60 kg 級 : 志々目 徹

※ 女子選手 52 kg 級 : 角田 夏実、志々目 愛

12 月 3 日 (土)

※ 男子選手 81 kg 級 : 渡邊 勇人

12 月 4 日 (日)

※ 女子選手 78 kg 級 : 緒方 亜香里

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★